

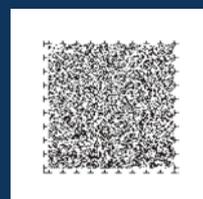
YES TO LIFE, NO TO DRUGS.

薬物乱用防止 リーフレット

あふれる情報に惑わされないで。
たった一回の判断が、自分を傷つけて
自分の大切な人も傷つけてしまうから。

STOP! 薬物乱用

わたしのため あなたのため 社会のため



1回だけでも乱用!!

薬物乱用とは？なぜいけないの？

薬物の使用は、厳密なルールと法律によって規制されています。使い方を間違えると、脳や神経を壊し、死んでしまうこともあるからです。そんな危険性がある薬物を、ルールや法律から外れた目的や方法で使用することを「薬物乱用」といいます。乱用というと繰り返し覚醒剤などの違法薬物を使用することを想像しやすいですが、**1回だけの使用でも乱用です。**



乱用される代表的な違法薬物

◇大麻 - いま、大麻での検挙者が、増えています! -

大麻を使用すると、視覚や聴覚が研ぎ澄まされているような錯覚が起こります。その感覚が忘れられず、やめられない状態に陥ります。繰り返し使用しているうちに、より強い刺激を求め覚醒剤などに手を出すようになります。SNSなどで「大麻は害がない」などのニセ情報が広まっています。こうしたウワサを信じて大麻に手を出し、検挙される人が急増しています。その中でも特に10代・20代の割合が増えています。



● 新しいタイプの加工品

大麻から成分を抽出した「大麻リキッド」や「大麻ワックス」など新しいタイプの加工品の摘発も増加しています。



● 大麻を含んだ食品

海外でお土産として売られているクッキーやチョコレートなどの中に大麻が含まれていることがあります。



◇覚醒剤

覚醒剤は脳を過剰に興奮させ、一時的に気分が高揚し疲労や眠気をなくします。しかし、効果は長続きせず興奮の反動で脱力感が強く残ります。脳を強制的に興奮させるため、強い精神的依存を引き起こします。

1度の使用でやめられなくなることもある薬物です。また、長期の使用で中毒性精神病になりやすく、幻覚や妄想といった症状が一生付きまとうこともあります。



◇危険ドラッグ

危険ドラッグは、「ハーブ」、「お香」、「アロマ」など一見すると危険な薬物だと分からないような名目で販売されています。しかし、どのような物質がどれだけ量、含まれているか分からず、麻薬や覚醒剤と同等かそれ以上の作用があることもあります。使用すると意識障害、けいれんなどを引き起こしたり、最悪の場合死亡することもあります。



薬物乱用の恐ろしさ

脳に深刻なダメージを与える

人間の脳は、千数百億個の神経細胞があり、その細胞同士が繋がり複雑な回路を形成しています。普段意識せず心臓を動かしたり、呼吸したりすることや、五感から得た情報を瞬時に処理し体の隅々まで伝達するなど、スーパーコンピューター顔負けの機能を持っています。脳の働きによって人間の行動のほとんど全てがコントロールされていますが、薬物乱用はこの複雑な回路を破壊し、心身に様々な悪影響をもたらします。

脳の働きの例

運動

手足を思い通りに動かしたりすることはもちろん、心臓や肺を動かし、細胞が生きていく上で不可欠な酸素を取り入れたり、体中に巡らせる。

記憶

過去に認識したことや、学習によって得た知識を整理する。いつでも必要な時に情報を取りだし、様々な状況で使えるようにする。

性格

自分自身の感情をコントロールすることや、相手を思いやることで、社会性やモラルを育み社会と調和できるようにする。

脳に薬物が入ると・・・

手足を思い通りに動かさないことで交通事故を起こしたり、心臓や肺の機能が止まり呼吸困難やけいれんを起こし最悪の場合死に至ることもある。

現実と記憶の区別がつかなくなり、実際ないものを見ているように感じる、過去と現在を正しく認識できないなど、幻覚や妄想の症状があらわれる。

急に暴力的になったり、感情のコントロールが出来ない状態となる。また、薬物がないと不安になり、家族や友達よりも薬物を優先するようになる。

薬物が徐々に効かなくなり
使用量が増える（耐性）

薬物をやめたくても自分を
コントロールできないため
やめられない（依存）

専門的な治療を受けることはできますが・・・

「再乱用のリスク」

回復の道もありますが、薬物依存症は一生付き合わなければならない病気です。薬物を乱用し脳の機能が変化してしまった人は、このリスクを抱えて生きていかななくてはなりません。また、再乱用をしなくてもストレスや飲酒などが引き金となって、突然、幻覚や妄想などの症状が再燃する、フラッシュバックという現象が起こることもあります。

医薬品 も間違った使い方は乱用です！



市販薬や医師から処方された薬を用法・用量を守らずに過量に摂取することは、健康被害を引き起こしたり、やめられなくなったりするおそれがあります。

また、処方された薬を他人に譲ることや、偽造品などのリスクが高い海外で販売されている医薬品を安易に個人輸入することは、避けましょう。

過量服薬（オーバードーズ）は健康被害を引き起こすなど大変危険です！

大切な自分を守るために

誘いの言葉にだまされない！



やせられる。
いやなことを
忘れられる



興味がない！
やらない！

こんな言葉に
だまされないで
全部ウソです！

断りにくいときはその場から逃げましょう。
逃げることも勇気です。

きっぱりと断る
ことが大切です！

友達から薬物の誘いを受けたら…

友達や先輩の誘いを断ると、「仲間はずれになるかも…」と不安になるかもしれません。しかし、その友達や先輩も薬物が欲しいがために誘っており、お金を稼ぐことが目的かもしれません。それは本当の友達でも頼れる先輩でもありません。

一人で悩まないで！悩んだときは、まず相談！

「薬物を使ってしまった。どうしよう」
「友達が使っているけどどうしよう？」
「薬物の誘いを断る自信がない」
「友達から、薬物について相談された」
「乱用をやめたい。やめたいけど、やめられない」

困ったときは、一人で悩まず相談を！ あなたは一人ではありません。
相談窓口では相談に関する秘密は厳守します。
安心して少しでも早く相談してください。

薬物についての相談窓口

◆薬物全般に関する問い合わせ・相談

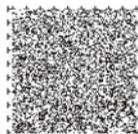
久留米市保健所総務医薬課
TEL：0942-30-9725
FAX：0942-30-9833

◆薬物依存・こころの健康に関する相談

久留米市保健所保健予防課
TEL：0942-30-9728
FAX：0942-30-9833

※相談の内容によっては、適切な相談機関をご案内します。

イラスト協力：久留米市立南筑高等学校美術部 写真提供：厚生労働省、福岡県



~~~~~ 発行 ~~~~~

久留米市保健所総務医薬課

〒830-0022 久留米市城南町15番地5